

稲羽地区 地域ケア連絡会 (場所：稲羽コミュニティセンター)

『「かかみがはら高齢者総合プラン」のポイントと、地域からの声』



「かかみがはら高齢者総合プラン」とは、各務原市における高齢者の福祉・介護施策の推進と介護保険事業の円滑な運営を図ることを目的に、老人福祉法に規定する「老人福祉計画」と、介護保険法に規定する「介護保険事業計画」を一体的に策定したもので、現在は5期目(平成24年～26年)にあたります。

この計画を“地域福祉力”の当事者である地域の皆さんにもっと広く紹介して理解していただくとともに、各機関が日頃の活動や悩みを紹介してお互いを知ること、それぞれの役割と連携協力について、一緒に考えるきっかけになれば良いと思い、今回の地域ケア連絡会を企画しました。

当日は、地域にお住まいの興味をお持ちの皆さん、近隣ケアさん、自治会役員さん、民生委員さん、シニアクラブの皆さん、シルバー人材センターの役員さん、介護サービス事業者さん、NPOさん、ケアマネジャーさんが参加されました。

【市高齢福祉課 奥村係長から】“かかみがはら高齢者総合プラン(概要版)”のパフレットをもとに、高齢者総合プランのポイントのうち、特に地域の皆さんに関係の深い2点を中心に説明していただきました。

① 地域福祉力を活かした総合的な地域包括ケア体制の構築

高齢者が住み慣れた地域での生活を続けられるように、医療機関、福祉・介護保険事業所、民生委員や自治会、近隣ケア、シニアクラブなど(当日参加されたような)地域のさまざまな方々が連携して支えていく体制を作る。こうしたネットワークを活用した支援において、地域包括支援センターはコーディネートする役割を担う。

② 高齢者が生きがいを持って、担い手となる仕組みづくり

高齢者は増えていくが、元気な高齢者も増えていく。元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支えていく。その一つとして、シルバー人材センターによるワンコイン（100円・500円）サービス（ゴミ出し、草引き、台風時の戸締り、電球の取り換え、冷暖房器具の入れ替えなど）が24年度からスタートした。

「ケアマネジャーさんも、こうした地域の取り組みもケアプランに位置付けることができると思う」とのアドバイスもありました。

【シニアクラブ連合会 会長 澤田さんから】稲羽地区はシニアクラブが18グループあり、いろいろな活動をされていることの紹介がありました。澤田さんはそれらの活動の機会を通じて、シニアクラブの活動や地域での見守りについて、少しでも協力していただけるようにお話しされています。認知症についての新聞記事を紹介しながら、家庭、隣近所、地域での関係が大切であり「救急車を呼ぶような事態になる前に、隣の人に声をかけられる地域にしていきましょう」と言われました。

【ボランティアハウスみんなであそぼまいか会 太田さんから】12年の活動歴があります。設立の経緯やこれまでの取り組み、年間通しての活動内容の紹介がありました。施設に入所した後も参加を続けた人がおられたことや、90歳を過ぎても参加される人もおられ、午前・午後の長時間は大変なので早めに帰られるが、今も元気に家で過ごされていることを何よりも嬉しく感じるなど、お話しされました。

【意見交流会】2年前に松本町で立ち上げられたボランティアハウス「パンダクラブ」さんが、設立の経緯や活動内容をお話しされ、町内に出かけて行ける楽しい場所ができたことで、おしゃれを楽しみ、心身とも見違えるほど元気になられた高齢の参加者もおられることなどを発表されました。他の町の皆さんから質問も出され、後日、ボランティアハウスの開催日に見学する話もまとまったようです。

現在各務原市では、新聞配達、電気・ガス等の民間事業者と市が協定を結び、配達や集金時などに異変に気付いたら市に連絡していただくなど、見守り体制の強化について関係機関と協議しているところです。どの業者にお願いできるかも含め詳細は確定していませんが、来年度からのスタートを目指しています。地域包括支援センターつつじ苑でも、25年2月か3月頃、そうした体制の概要を地域の皆さんにお話して、支援が必要な方を皆で見守りしていくことをテーマに、今年度にもう一回地域ケア連絡会を開催する予定です。ご参加をよろしくお願いいたします。



皆様のご意見をお待ちしています。

電話 058-371-2226 FAX058-371-8431 (担当 長谷川・西脇・林)